

## 尾道市歴史的風致維持向上計画変更(素案)の パブリックコメント募集

事業及び歴史的風致形成建造物候補物件を追加するため、パブリックコメントを募集します。

**意見提出できる人(次のいずれかに該当)**

- 市内に住所・所在地を有する人・団体
- 市内の事業所・学校等に通勤・通学している人
- 市に対する納税義務を有する人・団体
- 策定案に利害関係を有する人・団体等

**意見募集期間** 2月13日(火)～3月14日(水)必着  
**意見・市の考え方の公表予定時期** 3月下旬

**公表場所** 市ホームページ、市役所1階ロビー、まちづくり推進課、文化振興課、因島総合支所施設管理課、御調支所まおこし課、向島支所まおこし課、瀬戸田支所まおこし課、浦崎・百島支所、向東連絡所

**意見提出方法** 「住所・名前」を記載し、持参か郵送、FAX、メールで  
 ※書式は自由。参考書式は市ホームページから。

〒722-8501 久保一丁目15-1 まちづくり推進課  
 ☎0848-38-9225 ☎0848-37-1010  
 toshi@city.onomichi.hiroshima.jp

## 市立小・中学校臨時的任用職員・ 非常勤講師募集

**応募資格** 教員免許を所有している、教育に熱意を持っている人(教諭・養護教諭)

**勤務場所** 市内小・中学校

**応募方法** 履歴書を提出(随時)

☎学校経営企画課  
 (☎0848-20-7453)

## 急募 市民病院の内科医師

市民病院では、内科の常勤医師を募集しています。県外などに勤務している地元出身の医師や尾道での勤務を希望している医師に心当たりのある方はご紹介ください。皆さんからの情報(他の診療科も含め)をお待ちしています。

☎尾道市立市民病院庶務課  
 (☎0848-47-1155)



## エコドライブのすすめ

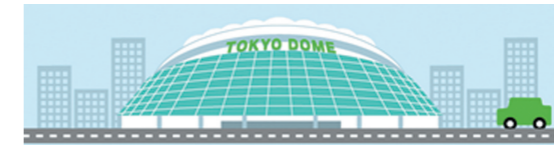
生活にはなくてはならない自動車ですが、家庭からの二酸化炭素排出量のおよそ25%を占める大きな排出源です。みんなが人と環境を思いやり、エコドライブを実践する『エコドライバー』になれば、地球温暖化対策につながります。

エコドライバーになるだけで、  
おおよそ10%燃費が向上します

⇒日本中がエコドライバーになったら、  
東京ドーム4,100個分のCO2が削減できるのです

地球にやさしい

財布にやさしい



### ふんわりアクセル

アクセルはぐっと踏み込まず、穏やかに踏んで発進しましょう。

最初の5秒間で時速20Kmが目安です。それだけで、燃費が10%程度改善します。



### 車間距離をあけて、加速・減速の少ない運転

走行中は、前の車との車間距離を十分あけて走りましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、燃費が悪くなります。



### 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど、停止することがもってわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。エンジンプレーキが作動し、燃費が改善します。



### 不要な荷物をおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。

車の燃費は、荷物の重さに大きく影響され、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。



### ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどで駐停車するときは、アイドリングをやめましょう。

現在の乗用車では、基本的に暖気運転は不要です。エンジンをかけたらずいに出発しましょう。



### タイヤの空気圧から始める点検・整備

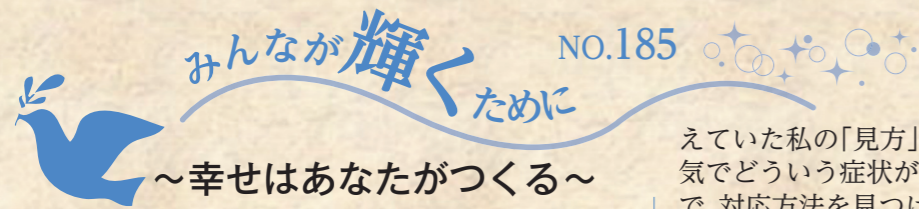
タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。空気圧が適正值より低いと、燃費が悪くなります。

また、エンジンオイル・オイルフィルタなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。



(出典:環境省HP)

☎環境政策課  
 (☎0848-38-9434)



～幸せはあなたがつくる～

祖母がこの世を去ったのは6年前。認知症を発症して10年後のことでした。

その祖母が、介護していた私に言った言葉は、いまだに忘れることができません。

「わしがこんなになったばかりに…すまんのう」

自分から言葉を発することが少なくなっていたので驚きました。それと同時に少しずつ物事を忘れていく不安に向き合っているのだと気付かされ、何とも言い難い複雑な気持ちになりました。

当時は、認知症に関する情報提供、介護する人への支援、地域で見守っていく取組みも今ほどではなく、私や家族は、認知症＝病気ということ以外に知識はありませんでした。認知症という事実だけを受け入れていたのです。

自分を責める祖母と思い通りにいかない介護に腹を立てる家族。この状況から抜け出して、家族みんなが幸せになるにはどうすればよいのか、分からずじままにただ悩んで落ち込むしかありませんでした。

しかし、祖母のことも病気だから仕方がないと考

えていた私の「見方」は、間違っていました。どんな病気でどういう症状があるのかということを知ること、対応方法を見つけ出すことができたと思います。

誰しも、幸せになりたいと願うのは、人として自然なことで、日本国憲法にも書かれている私たちの権利のひとつです。

問題や課題を見つけて対処することは、難しいことかもしれませんが、今よりも良くしたい、みんなが幸せに暮らせる社会にしたいと思うならば、他人任せにせず、真剣に考える必要があります。事実を正しく知り、何かを変えるためには行動することが重要です。

私たちは、生活習慣や経験、社会にあふれる情報の中から、自分の意見に近いものや多数の人が賛同する考えを正しいものとしてとらえがちです。

自分の中にある固定的な考え方、価値観は物の見方を限定します。頭をやわらかくして、物事の本質を考え、行動することができれば、私も、あなたも幸せになれるのではないのでしょうか。

皆さんの感想やご意見をお寄せください。

☎729-0141 高須町1519番地1 大田ふれあい館内  
 人権推進課  
 (☎0848-37-2631 ☎0848-37-6631)

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。  
 日日時期間 場場所 対象 内容 定員 料金 持ち参物 締切  
 申込方法 申込先 問い合わせ先 ☎電話 ☎FAX ☎電子メール